



第71回 全国植樹祭 しまね 2021

木でつなごう 人と森との 緑(えにし)の輪



おことばを述べられる天皇陛下(提供:島根県)



お手植えの介添え役にお声掛けされる皇后陛下(提供:島根県)



スギをお手植えされる天皇陛下(提供:島根県)



昭和天皇お手植えのクロマツをご収穫される天皇陛下(提供:島根県)



記念植樹される野上農林水産大臣

令和3年5月30日、島根県大田市三瓶山北の原で「第71回全国植樹祭」が開催され、天皇皇后両陛下はオンラインで御臨席されました。

島根県では、昭和46年4月18日に同地で「第22回全国植樹祭」が開かれ、天皇皇后両陛下によるお手植え(クロマツ)などの式典行事と参加者による記念植樹(クロマツ約2万本)が行われており、今回の大会は2回目の開催となります。

式典前のプロローグでは、島根県において神話の時代から育まれてきた「緑の循環」の歴史をダンスやコーラス等の映像で紹介されました。

式典では、天皇陛下から「人々が連携、協力することにより、植えて、育てて使い、また植えるといった『緑の循環』が広く実現することを期待します」とのおことばを賜りました。また、大島理森国土緑化推進機構会長(衆議院議長)及び丸山達也島根県知事のあいさつがあったほか、全国の緑化功労者や各種コンクールの表彰、野上浩太郎農林水産大臣などによる記念植樹が行われました。

赤坂御用地においては、天皇陛下がスギ、コウヤマキの苗木を、皇后陛下がヤマザクラ、シャクナゲの苗木をそれぞれお手植えされました。また、天皇陛下はクロマツとエノキ、皇后陛下はアカマツとクルミの種子をお手播きされました。さらに、天皇陛下による初めての(昭和天皇が第22回全国植樹祭で^たお手植えされたクロマツの)御収穫が行われました。

最後に、国土緑化推進機構の濱田純一理事長が大会宣言を行い、丸山島根県知事から来年全国植樹祭が開催される滋賀県の三日月大造知事に全国植樹祭シンボルである「木製の地球儀」をリレーして幕を閉じました。

次回の第72回全国植樹祭は、来春、滋賀県の鹿深夢の森を主会場に開催される予定です。

【全国植樹祭とは】

全国植樹祭は、天皇皇后両陛下のご臨席のもと、豊かな国土の基盤である森林・緑に対する理解を深めるため、昭和25年から各都道府県を巡って毎年春季に開催されている国土緑化運動の中心的な行事です。